

白鷹町の決算概要報告



一般会計

歳入

102 億 6,454 万円

歳出

95 億 7,754 万円

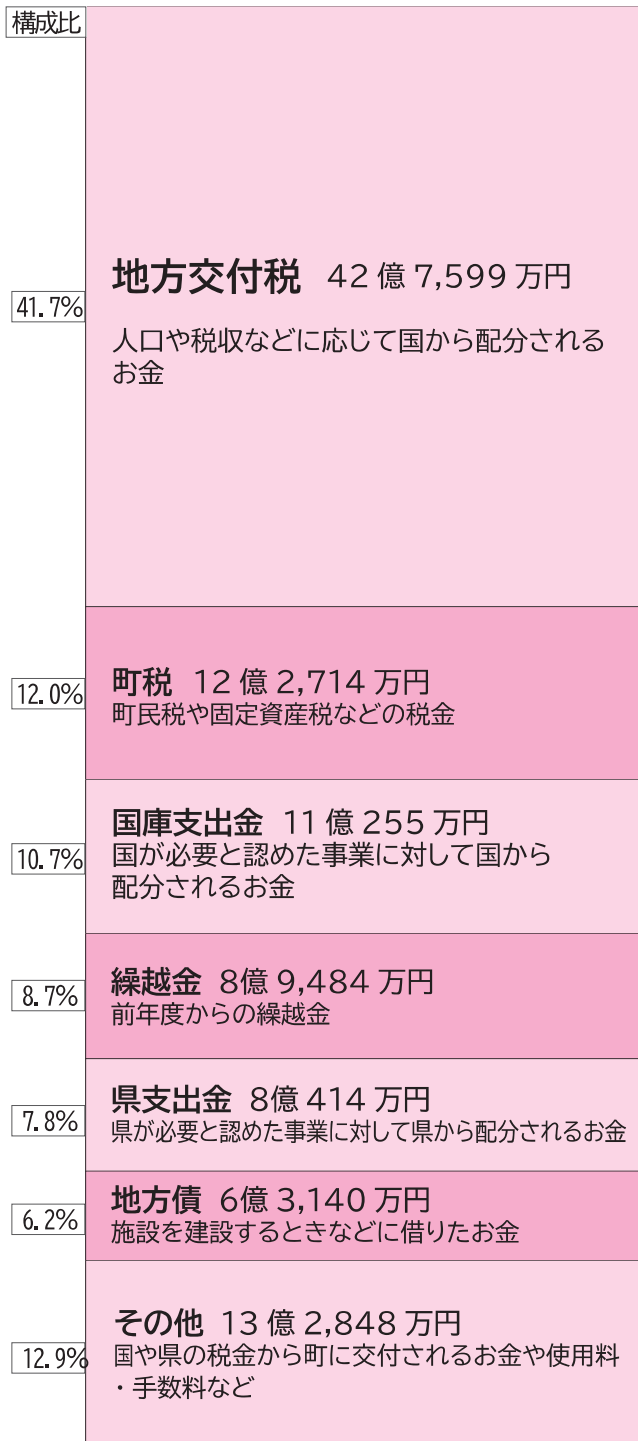
一般会計の歳入決算額（税金など町へ入ってきたお金）は102 億 6,454 万円で前年度に比べ、5 億 735 万円（4.7%）減、歳出決算額（町が使ったお金）は95 億 7,754 万円で前年度に比べ、2 億 9,951 万円（3.0%）減となりました。歳入歳出差引は6 億 8,700 万円、翌年度へ繰り越した事業に充てるべき財源を控除した実質収支は6 億 8,596 万円となりました。

¥

グラフで見る一般会計（歳入・歳出）

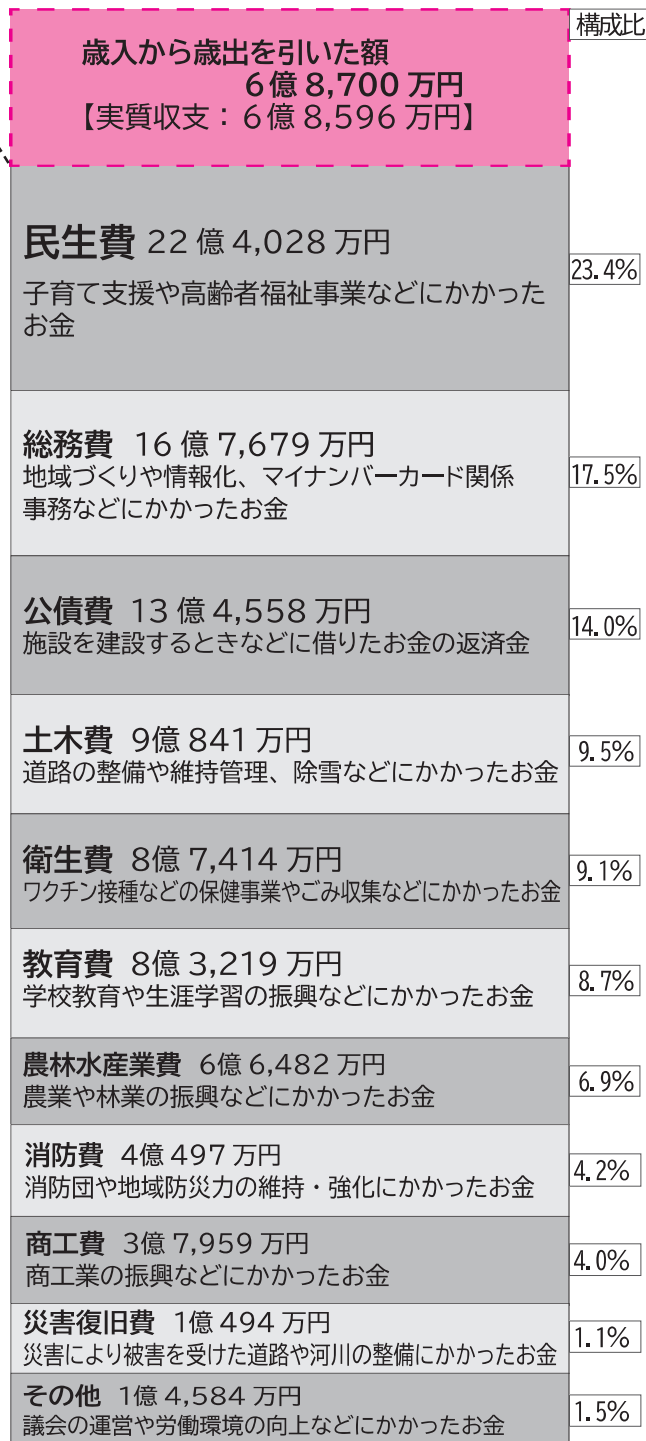
歳入決算額 102 億 6,454 万円

前年度比▲ 5 億 735 万円（4.7%減）



歳出決算額 95 億 7,754 万円

前年度比▲ 2 億 9,951 万円（3.0%減）



※地方財政状況調査による区分により集計しています。

※項目ごとに四捨五入しているため合計などが一致しないところがあります。

令和5年度は、このように お金が使われました！



歳出を町民一人あたりでみると

総額 **77万2,819円** (前年比▲7,667円)

※町民1人あたりの金額は、令和6年3月31日現在の町の住民基本台帳人口1万2,393人で割ったものです。

民生費 使われたお金…22億4,028万円

地域ぐるみの健康づくり・フレイル（加齢により心身の活力が低下した状態）予防を推進するため、研修会の実施や、情報交換会等を通じたネットワークづくりを行いました。また、全年齢の保育料完全無償化および副食費の無償化を継続して実施し、子育て世帯への支援に取り組みました。そのほか、第2期健康と福祉の里構想に基づき、施設の長寿命化および機能拡充に向けた実施設計に着手しました。



総務費 使われたお金…16億7,679万円

各分野における担い手不足に対応するため、マルチワーカーやUターン希望移住者の受け皿となる地域人材ベースキャンプの設立を支援しました。また、地域づくりのさらなる活性化と地域課題解決を図るため、新たに集落支援員制度を導入しました。そのほか、必要な人に必要な情報を即時に届ける行政情報配信システムや、施設予約などをオンラインで行う電子申請システムの構築も実施しました。



公債費 使われたお金…13億4,558万円

建設事業などを行うために借り入れたお金の返済を行いました。

土木費 使われたお金…9億841万円

小型除雪車の導入、小型除雪機の更新、除雪オペレーターの担い手確保支援に取り組み、除雪体制の充実を図りました。また、地域の安全確保に向け、危険な形状の交差点改良に向けた測量設計等を行いました。そのほか、定住促進・転出抑制対策として、子育て支援住宅および若者定住促進住宅の整備に向けた実施設計等を行いました。

衛生費 使われたお金…8億7,414万円

がん検診の受診率向上に向け、乳がんおよび子宮頸がん検診は、新たに個別受診を可能とするほか、高齢者が通う健康教育の会場数を増やすことで、介護予防と保健事業の一体実施の充実を図りました。そのほか、地球温暖化防止の取組として、新たに断熱性能の高い住宅新築への支援を実施しました。



教育費 使われたお金…8億3,219万円

I C T支援員の配置による授業支援などデジタル学習環境の充実を図ったほか、老朽化した学校施設の改修等を行いました。また、荒砥高校支援として、高校魅力化コーディネーターの配置により小規模校ならではの魅力づくりを進めるとともに、新たに修学旅行に対する支援を実施しました。



農林水産業費 使われたお金…6億6,482万円

異常気象や海外情勢、円安の影響による飼料等の生産資材価格の高止まりを受け、町独自で畜産飼料価格高騰緊急対策として支援を実施したほか、電気柵導入支援や地域ぐるみによる広域電気柵の整備支援を行いました。また、森林境界明確化に資する航空レーザ測量によるデジタルデータの取得を進めました。

消防費 使われたお金…4億497万円

新たに防災に関する専門的知見を有する地域防災マネージャーを配置し、防災意識の向上や、地域防災力の強化に取り組みました。また、消防団の出動報酬の引き上げにより、団員の処遇改善を行いました。



商工費 使われたお金…3億7,959万円

ガソリンスタンド統合や工場増設に向けた設備投資への支援などにより、商工業の振興を図りました。そのほか、買い物困難地域の解消に向け、移動販売実施地域の拡大に取り組む事業者への支援を実施しました。また、ふるさと森林公園について、施設の再整備に向けた基本構想の策定に着手しました。



災害復旧費 使われたお金…1億494万円

令和4年8月豪雨災害により被災した農業用施設などの復旧事業を行いました。

その他 使われたお金…1億4,584万円

議会運営に必要な経費や人材確保対策に係る経費等を支出しました。



特別会計と公営企業会計

特別会計			
会計名	歳入	歳出	差引
十王財産区	324 万円	27 万円	297 万円
下水道	4 億 4,599 万円	4 億 1,609 万円	2,990 万円
国民健康保険	13 億 6,028 万円	13 億 1,606 万円	4,422 万円
農業集落排水	1 億 4,247 万円	1 億 2,849 万円	1,398 万円
介護保険	16 億 8,056 万円	16 億 1,061 万円	6,995 万円
後期高齢者医療	1 億 7,611 万円	1 億 7,300 万円	311 万円

公営企業会計			
事業名	歳入	歳出	差引
水道事業(収益的収支)	2 億 9,135 万円	2 億 6,664 万円	2,470 万円
水道事業(資本的収支)	4,038 万円	1 億 1,376 万円	▲ 7,338 万円
病院事業(収益的収支)	11 億 3,552 万円	11 億 9,125 万円	▲ 5,573 万円
病院事業(資本的収支)	4,490 万円	1 億 3,516 万円	▲ 9,026 万円

※公営企業会計における収益的収支は税抜表示としております。
※万円未満端数調整

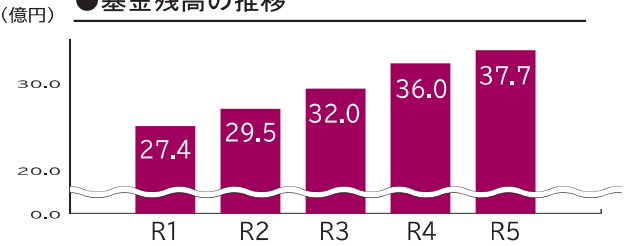
財政状況について

積立基金の残高

基金とは、貯金にあたるものです。大規模な災害等に備えて積み立てる「財政調整基金」や公共施設の整備等へ活用するために備えた「公共施設整備基金」、ふるさと納税制度を利用し、町へ寄附していただいたお金を積み立てる「ふるさと応援基金」などがあります。

令和5年度基金残高		37億7,487万円
財政調整基金	10億4,733万円	
減債基金	10億 859万円	
公共施設整備基金	9 億 527万円	
福祉振興基金	1 億2,628万円	
ふるさと応援基金	2,977万円	
その他の基金	6 億5,763万円	

●基金残高の推移



健全化判断比率の4つの指標は良好

自治体の財政状況を判断する「健全化判断比率」はすべて早期健全化基準を下回っており良好な状態です。引き続き健全な財政運営に取り組んでいきます。

指標	白鷹町	早期健全化基準 (※)
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	14.83%
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	19.83%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	11.8%	25.0%
将来負担比率 将来負担となる借金の割合	14.9%	350.0%

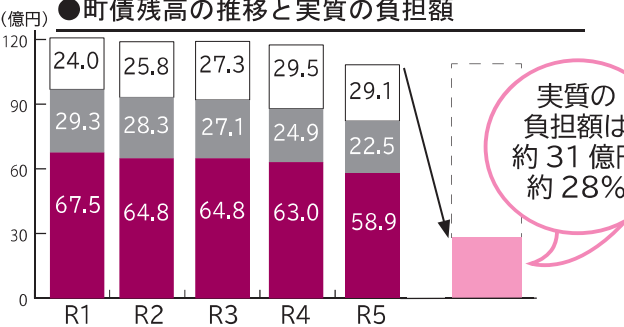
(※) この数値を上回ると健全化への取組が必要になります。

町債残高の推移と実質の負担額

町債とは町の借金のことで、令和5年度末の町債残高は110億6,079万円となりました。借金の返済金に対して地方交付税により国から配分される収入を差し引いた実質の負担額は約31億円(約28%)となりました。

令和5年度町債残高		110億6,079万円
過疎対策債	58億9,362万円	
臨時財政対策債	22億5,408万円	
その他町債	29億1,309万円	

●町債残高の推移と実質の負担額



公営企業における資金不足比率はなし

水道、町立病院、下水道、農業集落排水の全会計について、資金不足比率は発生していないため比率はありません。



※過疎対策事業債：過疎地域に指定された団体が発行できる地方債。返済金の7割が地方交付税により措置される。
※臨時財政対策債：国の財源不足を補うための地方債。返済金の全額が地方交付税により措置される。